

清らかな源流の里
県南農林だより
第20号



鮫川強滝の紅葉
(鮫川村)

農林業関係の動き

■「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催



ヨークベニマルでのPR

9月23日(土)に「道の駅はなわ」、11月4日(土)に「ヨークベニマルメガステージ白河店」で、風評払拭と地産地消の推進のため、「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました。

アンケートに協力していただいたお客様に、道の駅

はなわでは、埴町の花ダリア、米、野菜や味噌カンプラ(じゃがいも)のPR、ヨークベニマルでは、米(県オリジナル品種「天のつぶ」)菌床しいたけ、県産牛のPRを行い、地元の農産物への理解を深めていただきました。

県産牛を試食されたお客様の中には、そのおいしさからお買い求めいただいた方もおられました。また、「埴町のダリアはきれいでお買い得。」「天のつぶ、おいしくていつも買っています。」「お手頃の価格なのにおいしい。(県産牛)」といった感想をいただきました。今後、口コミなどで県産農林水産物のおいしさが広がり、販売量が増加することが期待されます。(企画部)

目次

農林業関係の動き

- ◇おいしい ふくしま いただきます！キャンペーン
- ◇秋の農作業安全運動
- ◇林業現場見学会
- ◇6次化ネットワーク交流会
- ◇鳥インフルエンザ防疫演習

コラム

- ◇FGAP、GAPの取組み
- ◇田んぼの学校

お知らせ

- ◇土づくりと肥培管理研修会
- ◇全国植樹祭参加者募集
- ◇おいしい ふくしま いただきます！キャンペーン
- ◇野生きのこについてのお願い
- ◇イベントのご案内

■秋の交通安全運動・農作業安全運動に係る啓発活動を実施



直売所での啓発活動

9月22日(金)、白河市のJA夢みなみ農産物直売所「り菜あん」と棚倉町のJA東西しらかわ農産物直売所「みりよく満点物語棚倉店」において、秋の農作業安全運動・交通安全運動の一環として、来店者に農産物や反射材、啓発資料などを配付し、啓発PR活動を行いました。

秋の農繁期も終盤を迎えますが、農業者の農作業事故の発生が増える傾向にありますので、単独での作業は極力控えるとともに、農耕車に反射材を貼るなどして目立つ工夫をし、最後まで気を抜かず、事故防止に努めましょう。(農業振興普及部)

■林業現場見学会を開催



林業機械の操作体験

10月11日(水)及び16日(月)、林業分野への新規就業者の確保に向け、高校生を対象とした林業現場見学会を開催し、福島県立修明高等学校鮫川校1・2年生40名及び福島県立白河実業高等学校農業科1年生40名が参加しました。

修明高校は、高性能林業機械による伐採と製材工場を見学、白河実業は、高性能林業機械による伐採とバイオマス燃料の原料などを生産するチップ工場を見学するとともに、伐採現場でチェーンソーや林業機械の操作体験を行い、森林の手入れの重要性と「仕事」としての林業を学びました。

引率の先生からは、「インターンシップへつなげる良い機会となった。」というご意見をいただき、生徒からは、「林業を就職

先の一つとして考えたい。」との感想も聞かれ、これからも継続して実施することで若年層の林業への就業が期待されます。(森林林業部)

■しらかわ・地域産業6次化ネットワーク交流会を開催



試食提供の実演
(左側赤い帽子が講師の伊藤さん)

10月19日(木)、県南地方で6次産業化に取り組んでいる方を中心に組織されたネットワーク会員の販売技術向上を図るため、白河市立図書館地域交流会議室で対面販売研修会を開催し、約20名の方が参加しました。

講師のイオン白河西郷店商品課長伊藤秀成さんから、対面販売を行う上での注意点や実践に基づいた試食提供の方法などについて講義と実演を交えて教えていただきました。

参加者からは、「初めて対面販売を教えていただき、大変ためになった。」「今後の活動に役立つ」などの感想がありました。

10月27日(金)～29日(日)には、イオン白河西郷店で販売会を実施、研修会の成果を発揮して自らの商品を販売しました。(企画部)

■県南地方鳥インフルエンザ防疫演習を開催



埋却溝の実地演習

今年も渡り鳥の飛来が本格化する時期を迎え、鳥インフルエンザの発生リスクが高まるなか、10月24日(火)、矢吹町の県農業総合センター農業短期大学校で「県南地方鳥インフルエンザ防疫演習」を開催しました。

管内で鳥インフルエンザが発生した場合を想定し、関係機関・団体が連携し、防疫作業が速やかに行われるよう、発生時の対応について確認した後、作業準備や防護服の着脱方法、車両消毒や埋却作業の演習を行いました。

特に今回の演習は1万羽の鶏の埋却を想定し、縦横8m深さ4mの埋却溝を実際に掘削、内部に石灰を散布後、大型ブルーシートを防疫作業者が協力して敷き詰め、フレコンバックをクレーンで吊り下ろす埋却作業までを実地演習しました。約100名の参加者が、発生時を想定しながら防疫演習に真剣に取り組む、関係機関等との連携を深め有事に備えました。(農業振興普及部)

■～食と命の大切さを学ぶ～ 塙小学校「田んぼの学校」の取組み



県では「ふくしまの農育」事業の一環として、子供たちの学びの場として農村地域を活用し、農業と食、命の大切さを学ぶことを目的として「田んぼの学校」に取り組んでいます。

今年度当事務所では、塙町立塙小学校5年生を対象に、地元農家の方々と連携しながら、うるち米ともち米の栽培に取り組みました。

学校脇の田んぼで、5月の田植えに始まり、稲刈り・脱穀まで、稲の生長を見守りながら米づくりを体験し、7月にはアクアマリンふくしまの講師から、田んぼの周りには普段気づかない多くの生きものが生息していることを学びました。

米づくりでは、地元農家の方々から田植えの仕方や、昔ながらの道具の使い方を教わり、農作業の苦労や収穫の喜びを体験しました。夏の天候不順の影響が心配されましたが、10月には無事収穫できました。

子供たちからは「田んぼにはいろいろな生き物がいた。」「これからは米を残さず食べたい。」などの感想が聞かれました。福島を担う子供たちの心に農業を通じて食と命の大切さが伝わったと考えています。御協力いただいた塙小学校を始め、台宿水と資源を守る会、台宿稲沢農事組合の皆様にご礼申し上げます。

なお、収穫した米は12月に小学校で行う収穫祭で、地元の方々が伝えてきたお料理で味わうこととしています。(農村整備部)



田植(5月)



脱穀(10月)

■県南地方でのふくしま県GAP (FGAP) の取組み

福島県では、GAP認証取得日本一を目指すこととして、5月15日に内堀知事とJA福島中央会の大橋会長により、「ふくしま。GAPチャレンジ宣言」を行いました。

宣言では、農業者の所得向上や農作業事故ゼロ、更には風評払拭に向け、震災と原発事故で傷ついた県内生産者のプライドをGAP認証取得により取り戻すとともに、震災以降の国内外からの応援に対する県民の感謝の気持ちを伝えたいという強い思いが込められています。

そのような中、県南地方では、9月13日(水)、白河市表郷公民館で「平成29年度県南地方ふくしま県GAP (FGAP) 説明会」を開催したところ、生産者、JA、市町村等、関係者約110名の出席で会場がいっぱいとなり、関心の高さがうかがえました。



FGAPの説明をする
瀧田主査



出席者からの質疑

説明会では、県農林水産部環境保全農業課の瀧田主査から「FGAP」について、認証を取得するまでの流れや他のGAPとの違いなどについて、くわしい説明がありました。

東日本大震災以降風評により大きく揺らいだ、「福島県の農畜産物の安全性と信頼」をGAPへの取組で「見える化」することによって、「確かな安心」につなげるため、県南地方はもとより福島県全体で農業関係者が心を一つに、FGAPに取り組んでいく必要性を出席者は強く感じていました。(農業振興普及部)

■「園芸産地の土づくりと肥培管理研修会」を開催します！

講師に、東京農業大学名誉教授・全国土の会会長の後藤逸男先生をお迎えし、土壌分析結果の見方や、肥培管理に活かすポイントを学びます。

○日時:12月8日(金)13:30~

○場所:中島村生涯学習センター「輝ら里」

(住所:中島村大字滑津字二ツ山28番10)

○お問合せ先:農業振興普及部経営支援課
電話:0248-23-1563)

■第69回全国植樹祭の参加者募集中

平成30年6月10日(日)に南相馬市原町区^{しどけ}栗地内で開催される国土緑化運動行事「第69回全国植樹祭」の一般参加者(県内公募)を募集しています。

申込期間は平成29年11月30日(木)までです。

応募方法はインターネット(URL:<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/syokujusai/>)の申し込みのほか、郵送又は持参となっています。

応募用紙や募集ガイドは、各市町村や農林事務所に備え付けてありますので、この機会に是非ご応募ください。(森林林業部)



■野生きのこの出荷制限について

野生きのこの出荷・提供・販売はできません！！

県南地方では、下記のとおり全市町村で野生きのこの出荷制限等の指示が出されていますので、野生きのこの出荷、提供、販売をしないよう御注意ください。(森林林業部)

品目	市町村
野生きのこ	全市町村(棚倉町は摂取も制限)

※なお、近隣市町村(他県を含む)は下記ホームページ等でご確認ください。

【ふくしま新発売】

<http://www.new-fukushima.jp/>

【林野庁:きのこや山菜の出荷制限等の状況】

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/tokuyou/kinoko/syukkaseigen.html>



■第4回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン

福島県オリジナル水稲品種「天のつぶ」と栽培したけのPRを行います。アンケートに御協力いただいた方へ天のつぶやしいたけのプレゼント！試食も行いますので、是非ご来場ください。(企画部)

○日時:12月16日(土) 10時~

(景品、試食がなくなり次第収量)

○場所:JA東西しらかわ農産物直売所

「みりよく満点物語」

(棚倉町大字下山本字愛宕平15-1)

■各種イベントのご案内

【塙町 第28回塙町産業祭】

○日時:11月23日(木) 勤労感謝の日 9時~

○場所:塙町小学校校庭

【棚倉町 みりよく満点物語 冬祭り】

○日時:12月16日(土)17日(日) 9時30分~

○場所:みりよく満点物語

平成30年
6月10日開催!!



第69回 全国植樹祭

ふくしま
2018

育てよう
希望の森を
いのちの森を



農林業に関する相談などお気軽にご連絡ください！

福島県県南農林事務所 企画部

〒 961-0971

住所 福島県白河市昭和町269[白河合同庁舎]

電話 0248-23-1577

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36230a/>

平成29年11月20日発行



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.